

実は隣のスゴイ人



「そお文化村が2月19日に開催予定の『曾於市の学園祭』」



昨年10月にそお文化村で子ども達に配った「曾於市いっぱいのカレー弁当」



第72回 地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、宮原新吾さんにご紹介いただいたこの方は、「ラジオを通じて常に色々な方向にアンテナを張られているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは又木志帆でお届けします。

【今回のスゴイ人】
エス・クラス
S-Class
池田 武寛さん



▶インタビューを終えて

分岐点になるようなタイミングで出会えた方々に支えられて、これまでやってこれたと話す池田さん。2月19日(日)に末吉総合センターで開催される曾於市の学園祭をとっても楽しみにしています。(又木)



- ・ S-Class
末吉町二之方6058番地17
☎ 0986-51-9761
- ・ NPO法人そお文化村 理事長
- ・ SOOGoodFM パーソナリティ



協力隊の今日この頃

お疲れ様です。2月は去年からひそかに勉強している、日本茶インストラクターの二次試験があります。毎日お茶の葉をみて、飲んで猛勉強中です。

一次試験はお茶の歴史から栽培・製造・淹れ方・成分・効果についての試験がありました。二次試験はお茶の品質審査や鑑定、インストラクションの実技試験があります。人の暮らしとお茶の歴史は深く、知れば知るほど面白いと感じるようになりました。例えば、飲み物として何気なく飲んで



いたものが、奈良時代から飲まれていたことや、戦国時代には武士のステータスとして扱われ、後に一般庶民の闘茶(お茶の飲み比べをする賭け事)にも使われたりと、知らないことばかりでした。お茶といっても今と昔では製造の仕方や淹れ方、味も違うと思えますが、昔のお茶も飲んでみたかったなと思います。二次試験の結果はどうあれ、今後皆さんにお茶を淹れさせていただく機会も出てくるかもしれませぬ。その時はお手柔らかにお願いします。(又木)



今回は、末吉町出身で学習塾&バレエスタジオS-Class・そおグッドFM・NPO法人そお文化村で活動されている池田武寛さんにお話を伺ってきました。

池田さんは、千葉大学を卒業後、東京の学習塾「IGS」で20年近く働かれました。そこで学習指導や塾経営などの知識を身に付けられたそう。

池田さんが43歳の時に家族全員で曾於市へUターン。

「何をやるか考え、まずはプロとしてやれることを曾於市でやろうと思いました」

そして池田さんが学習塾、バレエ講師をしていた奥様がバレエスタジオというかたちのS-Classを開きました。また、なにか町のためにできることをやりたいと考えていた池田さん。次に考え飛び込んだのが、そおグッドFMのパーソナリティでした。子どもの頃から知っている曾於市のことや、他にはない魅力などの話を、多くの方へ伝えたいと思います。

池田さんは塾の子ども達に「卒

業後は町を出て、いろんなものを見て、いろんな体験をしてほしいよ」と伝えていきます。一度、曾於市を外から見て多くのことを考えてほしいそう。

「曾於市の大人として、故郷を離れた子ども達に、再び選んでもらえるまちにしたいんです」

池田さんはNPO法人そお文化村で理事長としても活動されています。この活動はサッカー少年団の監督だった元理事長の児玉勝雄さんから誘われ、NPOでの活動が始まりました。

現在NPOの仲間と、何かできることはないかと、いろいろなことを考えながら活動されています。その内容は学習支援・曾於市いっぱいのお弁当事業・国際交流事業「アジアカフェステイバル」・曾於市の学園祭など幅広いものです。

活気あるまちづくりと、故郷を離れた子ども達に、曾於市を選んで帰ってきてもらえるようなまちづくりを続けていきたいと、強い想いで話してくれました。